

学遊とやま



創造のよろこび



富山県民生涯学習カレッジ

ガイドブック

2019年版



シンボルマーク

互いに励ましあいながら学び、未来へ飛躍する姿を蝶のかたち(富山県のかたち)で表わしたものである。(デザイン・奥野達夫氏)

目 次

～ 出会い ふれあい 学びあい 学びのサロン 県民カレッジ ～

◆県民カレッジの5つの機能	1
1 学習情報を収集・提供し、学習相談に応じます	3
とやま学遊ネット	3
窓口でもお答えします 学習相談	4
2 多彩な学習機会を提供します	5
主催講座	6
委託講座	9
連携講座	9
3 映像で学習を支援します	10
富山県映像センター	10
4 学習交流や成果の発表を支援します	14
カレッジ単位の認定	14
発表・交流の機会	14
学習のお手伝いをするボランティア	14
教授するボランティア	15
仲間と活動する学習ボランティア	15
5 生涯学習についての調査・研究を行います	16
◆県民カレッジ地区センター	17
新川地区センター	17
富山地区センター	18
高岡地区センター	18
砺波地区センター	18
◆資料	
1 とやまの生涯学習のあゆみ	19
2 富山県映像センター(県民カレッジ映像センター)のあゆみ	21
3 主な講座の受講者数の推移	25
4 連携講座 実施状況	25
5 テレビ放送講座過去の作品一覧	26
6 県民カレッジのしくみ	27

出会い ふれあい 学びあい 学びのサロン 県民カレッジ



新川地区センター



富山地区センター

県民カレッジの5つの機能

1 学習情報を収集・提供し、学習相談に応じます

- ①インターネットによる生涯学習情報提供サービスシステム「とやま学遊ネット」で、講座・イベント・施設・映像・団体・講師などに関する情報を提供します。とやま学遊ネットの「マイページ会員」になると、関心ある講座の案内情報をメールで知らせる「お知らせ宅配便」やメールマガジンの配信を受けることができます。また希望に応じて、ネットから主催講座の受講申込みや視聴覚教材・機器の予約申込みなどのサービスを受けることができます。
- ②各地区センターから「地区センターだより」を発行し、地区センターで開催する講座など学習情報を広く県民にお知らせします。
- ③本部および4地区センターでは、個人からの学習相談や、団体や機関からの学習事業の企画・運営に関する相談に応じます。

2 多彩な学習機会を提供します

- ①各分野の著名な講師から、新しい知識や様々な情報を学ぶ「夏季講座」を開講します。
- ②県民から公募した県民教授(講師)と、塾生(受講者)によって自主的に運営される「自遊塾」を開講します。
- ③地区センターにおいて、地域の特色を活かした様々な学習講座や、高校の授業を生徒とともに学ぶ「共学講座」を開講します。また本部において、撮影や編集について学ぶ「映像制作講座(映像制作セミナー・著作権講座)」を開講します。
- ④県内4地区の生涯学習団体協議会に「学習団体講座(教養講座・広域交流講座)」を委託し、地域の特色を生かした講座を開講します。
- ⑤県民カレッジが、県内の市町村や生涯学習機関、大学・民間団体などと連携し、情報提供や単位認定を共通化する「連携講座」を実施します。



富山県は、県民一人一人が生涯をとおして生き生きと学び続け、あわせて自らの学習成果を地域に還元して社会貢献ができる人材を育てることで、未来への希望に満ちた社会の創造をめざしています。

富山県生涯学習カレッジ（愛称 県民カレッジ）は、本県の生涯学習推進の中核的機関として、本部と新川・富山・高岡・砺波の4つの地区センターが連携しつつ、各地域において先導的な生涯学習事業を実施しています。



高岡地区センター
(ウイング・ウイング高岡7F)



砺波地区センター

3 映像で学習を支援します

- ①映像を活用した文化・学習活動を支援します。
- ②撮影・編集等の映像制作を、本部のスタジオや映像工房においてサポートします。
- ③学校や地域の活動で利用できる約9,000本の映像ソフトの貸し出しを行います。
- ④ふるさと富山に関する映像を、撮影・収集・蓄積・上映し、県民の財産として活用します。
- ⑤優秀映像の上映会や、「わくわく土曜シアター」を本部・各地区センターにおいて開催し、映像の普及活動を推進します。

4 学習交流や成果の発表を支援します

- ①県内各地で活動する学習サークルの活動や交流を支援し、県民の学びの輪を広げます。
- ②学習歴や修得単位を記録する「県民カレッジカード」を発行し、受講者の学習活動を応援します。
- ③学習成果の発表・交流の場として、本部・各地区センターにおいて学遊祭（キャンパスフェスティバル）を開催します。
- ④生涯学習ボランティア活動を支援します。

5 生涯学習についての調査・研究を行います

- ①県民のニーズや地域の特色に応じた事業の実施や、新たな講座等の開発のため、生涯学習についての調査・研究を実施します。

1 学習情報を収集・提供し、学習相談に応じます

とやま学遊ネット

インターネットによる生涯学習情報提供サービス

いつでも どこでも 自分スタイル！
ネットで広げる 学びの輪！

<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/>

■富山県生涯学習情報提供ネットワークシステム

「とやま学遊ネット」は、利用者にとっては学習情報を手軽にチェックできる場、情報登録者にとっては生涯学習情報のPRの場となるよう、直接書き込みができるようになっています。生涯学習のポータルサイトとしてご利用ください。

従来の「学習情報データベース」のキーワード検索をはじめ、「新着情報のメール配信」や「インターネットでの受講申込サービス」「県民カレッジ単位の確認」など、多機能なサービスを提供し、一人一人の学習活動を支援します。

■機関が直接書き込むホットな情報を手軽にチェックできる機能（ポータルサイト）

新着情報一覧表示

利用登録機関が掲載する「お知らせ」や「講座・イベント」などの情報をトップページに新着順で表示したり、アクセスランキング順で表示したりします。

イベントカレンダー表示

カレンダーの日をクリックすると「講座・イベント」の開催状況を「週間カレンダー」「月間カレンダー」で一覧表示します。

■生涯学習情報データベース検索

より多くの情報から、キーワードや条件で検索

データベースには、約14万件の豊富な学習情報が登録されています。「学習講座」「イベント」「ビデオ・映画教材」「施設」「文化財」「団体・サークル」などの学習情報や「講師・指導者」「ボランティア」などの人材情報を、「キーワード」や「学習分野・地域」などのカテゴリーで検索することができます。

■富山県内のすべての公立公民館サイト

「とやま公民館学遊ネット」

県内公立公民館のホームページを開設し、「とやま学遊ネット」に登録されている情報や、公民館が登録した情報を公民館単位で絞り込んで検索・提供するなど、ふるさと学習の推進を図ります。

<http://www2.tkc.pref.toyama.jp/kouminkan/>



■学ぶあなたに 学習活動支援サービス

マイページ会員サービス

「とやま学遊ネット」のマイページサービス登録をすると、IDとパスワードで自分のページが表示されます。

お知らせ宅配便（電子メール配信サービス）

希望する分野や地域の学習講座・イベント情報を週に1回、電子メールでお届けします。

連携講座申込（電子メール転送サービス）

県民カレッジ連携講座の受講申込みを、電子メールで申込み先へ転送します。

マイページ会員特別サービス

県民カレッジ窓口で本人確認できる証明書を提示し、所定の手続きをすると、特別サービスを受けることができます。

主催講座インターネット申込・講座パスポート

県民カレッジ主催講座の受講をインターネットで申込んだり、県民カレッジで受講した講座の履歴や、取得した県民カレッジ単位数を確認したりすることができます。

視聴覚教材・機材の予約・貸出状況の確認

富山県映像センター所蔵の学習用ビデオや映画作品などの視聴覚教材や16mm映写機・スクリーン・プロジェクターなどの機材の貸出予約、予約状況・貸出状況を確認することができます。

■ふるさと学習の資料に

「とやまデジタル映像ライブラリー」

富山県映像センターが制作する映像教材・資料や、県民から提供された映像など約2,000点をインターネットで視聴することができます。

「とやま県民ふるさと資料館」

主に「県民カレッジテレビ放送講座」で利用した資料を、県民の共有財産として文字や映像で提供します。

窓口でもお答えします 学習相談

県民カレッジでは、生涯学習に関する学習相談を行っています。「県内で実施されている学習講座を知りたい」「文化・学習イベント情報が知りたい」「学習の仲間をつくりたい」「講演会や研修会の講師を探したい」「学習成果を活かして講座を開きたい」など、気軽にご相談ください。

会員登録のステップが示されています。

「お知らせ宅配便」

主催講座申込の画面が示されています。

「主催講座申込」

マイページ機能一覧の画面が示されています。

「機材検索・教材検索」

とやまデジタル映像ライブラリーのウェブサイトが示されています。

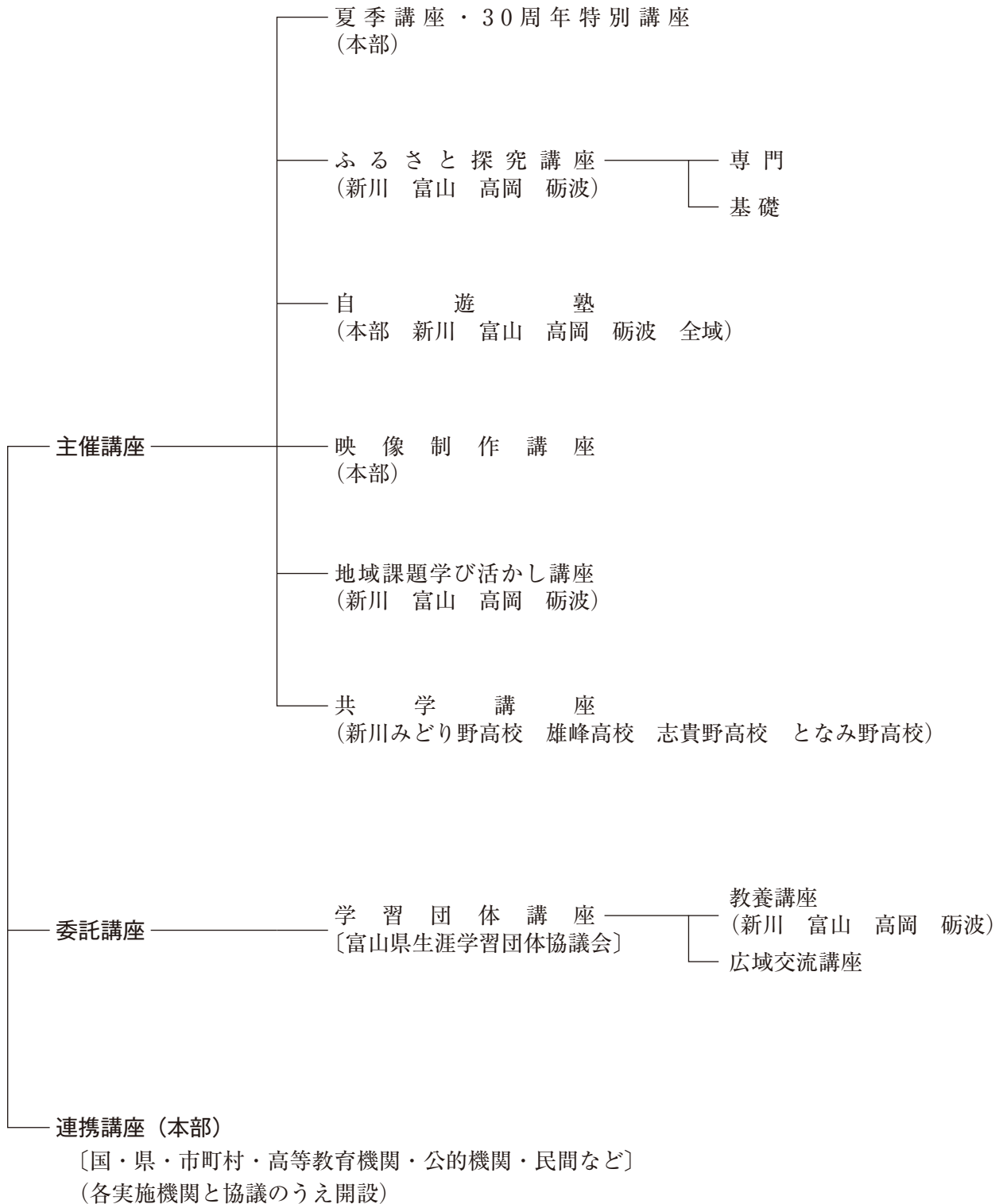
「とやまデジタル映像ライブラリー」



2 多彩な学習機会を提供します

県民の多様な学習ニーズに応え、また多くの学習機会を確保するため、本部及び4地区センターで講座を開講するとともに、学習団体への講座の委託、高等教育機関との連携講座など幅広く講座を運営しています。

■県民カレッジ講座概要(平成30年度の実績)



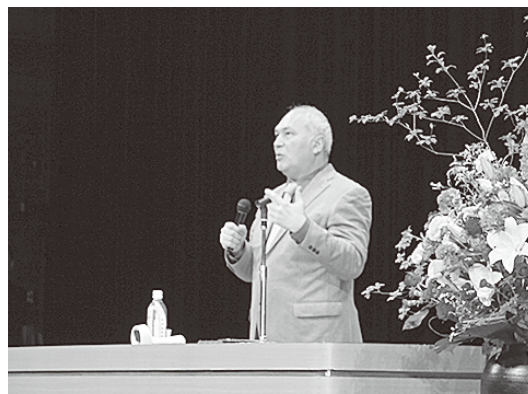
主催講座

■夏季講座

各分野の著名な講師から学ぶ、講演会形式の講座です。
富山県教育文化会館で、年間1講座程度を開講します。

〈これまでの主な講師〉

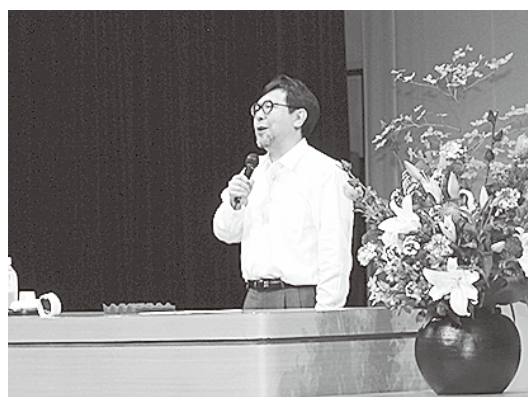
竹村健一 河合隼雄 大岡 信 永井道雄
ドナルド・キーン 有馬朗人 林真理子
井上ひさし 木村尚三郎 篠田正浩
山田太一 渡辺昇一 柳田邦男 玄侑宗久
鎌田 実 養老孟司 福岡伸一 林 成之
紺野美沙子 姜尚中 黛まどか 谷内正太郎
ロバート・キャンベル 内館牧子 吉村作治
岸見一郎 モーリー・ロバートソン
その他多数



講師 モーリー・ロバートソン 氏

■30周年特別講座

平成30年9月9日(日)に「30周年特別講座」として、歴史学者の本郷和人氏を招き、「越中の武将と天下」と題して講座を開催しました。



講師 本郷 和人 氏

○県民カレッジ叢書

著名講師などの講演記録集です。講演者の了解のもと、県内の学校や図書館などに配布するとともに雷鳥会会員が購読しています。昭和63年の県民カレッジ開学から112冊、それ以前の昭和43年の「精神開発叢書」からは約280冊を発刊しています。

これらは、県民カレッジ本部及び各地区センター、県内図書館などで読むことができます。



カレッジ叢書109・110・111号

■地域課題学び活かし講座

人口減少、超高齢化、環境、防災、子育て、観光振興、国際交流、文化継承などの様々な課題について、強い関心を持っている方や、実際に活動されている方が共に学び、考える機会を設けることで、地域の活性化に向けた行動につなげる講座です。年間12講座を新川・富山・高岡・砺波の各地区センターで開講しています。



「富山を発信！ファーストクラスサービス」(富山)



「古地図で高岡まちなめぐり」(高岡)



「一人一人が助かる地域に」(新川)



「観光資源の創造と活用」(砺波)

■ふるさと探究講座(専門)

ふるさとの自然や風土・歴史(人物)・文化・伝統・産業などをテーマにした専門家の講義を通して学びを深める専門講座です。1講座は各2時間、計4回で構成され、年間10講座を新川・富山・高岡・砺波の各地区センターで開講しています。



「魚津の三太郎博士」(新川)



「近代の立山―新たな時代をむかえて」(富山)



「水稲新品種「富富富」の挑戦」(高岡)



「庄川軌道の13年」(砺波)

■ふるさと探究講座(基礎)

地域の特色を活かしたテーマについて現地研修や解説を通して体験的に学びを深める基礎講座です。年間13講座を新川・富山・高岡・砺波の各地区センターで開講しています。



「ますの寿司調理」(新川)



「『ムヒ』ブランドができるまで」(富山)



「ケガ予防のためのストレッチ」(高岡)



「音楽を使って生き活きと」(砺波)

■自遊塾

公募した県民教授がボランティア講師として、創造性を活かして運営する全国的にもユニークな講座です。平成7年に16講座から始まり、現在は100以上の講座を開講しています。教える方（県民教授）と学ぶ方（塾生）が交流することで学びを深める場にもなっています。



「富山の魅力」



「大人のための絵本deセラピー」

○幅広い年代の受講者層

20代から80代までの受講者が集っています。

○県内市町村や民間教育活動に波及

高岡市の「たかおか学遊塾」、南砺市の「なんと市民学遊塾」魚津市の「未来塾」をはじめ、県内各地に類似の講座も発足しています。また、自遊塾での活動をもとに民間教育活動も盛んになっています。

■映像制作講座

映像制作セミナー

・映像撮影講座（初級編）

映像作品を制作するための初歩的な知識と技術を習得します。企画や構成、撮影技術を学ぶことができます。



映像撮影講座（初級編）

・映像作品制作講座（中・上級編）

より魅力ある映像作品を制作するのに必要な構成、撮影、編集の技術を学び、制作者の意図が観る人に伝わるような作品づくりを目指します。



映像作品制作講座（中・上級編）

・映像作品ナレーション講座

ナレーション・話し方の基本を学び、紙芝居を用いたグループワークや、スタジオにて映像に声を当てる“アフレコ体験”を行います。ナレーション入りの映像作品づくりに生かすことができます。



映像作品ナレーション講座

著作権講座

大学や日本音楽著作権協会から専門家を講師に招き、著作権の概要を学びます。制度や判例などを通して、音楽や映像など制作された著作物を正しく利用することの大切さを理解する講座です。



著作権講座

■ 共学講座

各地区センターに併設されている定時制・単位制高校の授業の一部を、社会人が高校生とともに学ぶことができる講座です。



新川みどり野高校



雄峰高校



志貴野高校



となみ野高校

委託講座

■ 学習団体講座

・ 教養講座

富山県生涯学習団体協議会に委託して、県内4地区の地域の特性に基づいて、各地区8回ずつ講義を実施している講座で、特定の分野に偏ることなく、幅広いテーマで開講しています。

・ 広域交流講座

県内4地区の生涯学習団体協議会に加盟している団体が、お互いに交流を深めることを目的とした講座で、4地区で協力して年間1回実施しています。



教養講座現地研修(富山)



広域交流講座 現地研修(瑞龍寺)

連携講座

県民に多様な学習メニューを提供するため、全国に先駆けて昭和63年の県民カレッジ開学と同時に開始した学習サービスです。広報や単位などを共通とし、県内20～30の公的機関・市町村・高等教育機関、民間団体などで、年間150～200の講座が行われています。

連携講座の開設要件は、総時間5時間以上、定員15人以上の講座であることです。

連携講座の申請は、本部で、随時、受け付けます。

連携講座を開設することで、広く全県から受講者を募集することができます。



連携講座の案内の例

3 映像で学習を支援します

富山県映像センター

「映像で学ぶ」「映像をつくる」「映像をいかす」「映像をあつめる」の4つの働きのもとに、「交流・学習・資料・研究」のセンター機能を活かして、生涯学習活動を支援します。

学 ぶ

■ハイビジョン学習室の活用

ハイビジョン学習室（定員80名）で、110インチの迫力ある画面を利用し、視聴覚機器を活用した学習を企画することができます。

※5名以上の学習団体で、視聴覚機器を利用した学習など、教育的・文化的な目的であれば無料で利用することができます。

■映像フェスティバルの開催

富山県映像センターが所蔵する貴重な映像資料や優れた映像を、県民に広く楽しみ、親しんでもらうために、ハイビジョン学習室などで年4回（7・10・12・2月）開催しています。ふるさと富山の貴重な映像や劇映画、アニメーションなどをお楽しみください。

※2月には「とやま映像祭」を予定しています。県内放送機関等と連携し、郷土富山に関する映像を多数上映します。



映像フェスティバル

■わくわく土曜シアター

毎月第2・4土曜日に、富山のなつかしい映像や文学に関連する映像など幅広いジャンルの映像を、富山駅前CiCで上映します。毎月第2木曜日には、ハイビジョン学習室で再上映します。平成23年度から各地区センターにおいても開催しています。



わくわく土曜シアター

■ジュニア映像制作教室

中学生・高校生を対象に、映像作品制作に必要なシナリオの書き方や撮影、編集の基本を学び、学習や学校行事等に活用できる基礎知識を習得します。



ジュニア映像制作教室

■16ミリ映写機技術認定講習会

16ミリ映写機を学校や公民館活動等での映写会で、正しく操作して活用するための16ミリ映写機技術認定講習会を開催しています。

※講習希望があればご相談ください。



16ミリ映写機技術認定講習会

いかす

■映像相談

映像センターでは、県民の皆さんからのビデオ撮影や映像編集・活用などの相談に無料で応じています。また、映像関連情報の収集・提供も行っています。



■豊富な教材の閲覧・貸出

16ミリフィルム、VHS・DVDビデオなどの利用相談や貸し出しを行い、皆さんの文化・学習活動を支援しています。

- ・教材は、「とやま学遊ネット」から、検索・予約することができます。
- ・貸し出しはすべて無料で、1回につき5本まで可能です。貸し出し期間は1週間以内(含輸送期間)です。



貸出ソフト数一覧

16ミリフィルム	約2,400本	VHS	約4,800本
CD,DVD,Blu-ray	約2,100本	ハイビジョンソフト	約50本

※平成31年3月現在

貸出機器一覧

電話での利用相談や予約もOKです。利用はすべて無料で、貸し出し期間は1回につき1週間以内です。

- | | | | |
|------------|-------------|-----------|----------|
| ・液晶プロジェクター | ・スクリーン | ・DVDプレーヤー | ・外部スピーカー |
| ・OHP | ・スライド映写機 | ・ビデオデッキ | ・16ミリ映写機 |
| ・CDラジカセ | ・書画カメラ(OHC) | | |

※機器の貸し出しは、**各種団体を対象**に行っていますが、特定の**政治・宗教の宣伝や、営利目的・企業活動としての利用はお断り**しています。

■ふるさとブースでの上映・視聴

ふるさと富山の四季折々の自然や地域の行事などを「ふるさとブース」(1階2基、3階2基)で紹介しています。

また、3階のブースでは、興味・関心のある映像作品をその場で視聴することもできます。

※ふるさとブースの上映内容は、定期的に更新しています。



ふるさとブース（3階）で視聴できる主な作品（平成31年3月現在）

分 類		作 品 例
郷土学習教材		「とやまの曳山 “世界の宝” を守り続ける」「富山湾 美しい湾を未来につなぐ」「とやま『鉄道』物語」他
映像で綴る思い出の富山		県ニュース(昭和27～28放映)、県民提供の昭和の映像「三八豪雪」他
とやま映像コンクール	自作視聴覚部門	「富山県砺波地方の昔の米作り」「ステラ ～星の軌跡～」 「子供達よ先人から学ぼう」 他
入賞作品	ふるさと部門	「夏の予感」「べるもんた走る 越中万葉を乗せて」「心にキザム」他
県内各地の映像		「おわら風の盆」「雷鳥の四季」「井波彫刻」「高岡銅器」「むぎや祭」「国民文化祭」 他
その他		「こんにちは富山県です」「テレビ放送講座」「まんが日本昔話」「世界名作劇場」 他

■残したいとやまの映像、旬の映像

県内各地で撮影した「旬の富山」や県民から寄贈いただいた貴重な映像を、「ふるさとブース」での視聴はもちろん、平成17年度からはDVDにして、県民の皆さんへも貸し出ししています。

■16ミリ映写機点検

市町村や機関などが所有する16ミリ映写機を点検しています。点検の要望があれば、随時対応しています。



つくる

■映像工房の利用

映像工房は、デジタル編集機9台を備えた映像編集室です。メディア指導員や技師が、制作の相談に応じたり、サポートしたりします。教育的・文化的な目的での映像編集に、無料で利用することができます。

※映像工房での編集は、ハイビジョンにも対応しています。



■映像ボランティア

映像ボランティアを随時募集しています。県民の生涯学習推進のため、行事や活動の記録や紹介などの映像やソフトづくりなど、得意な分野に参加していただけます。

■郷土学習教材の制作

映像センターでは、ふるさと富山の自然や文化に関する学習に活用できる映像教材を制作し、県内の教育関係機関に配布するとともに、デジタル映像ライブラリーで配信しています。



あつめる

■映像で綴る思い出の富山

ふるさと富山の昔懐かしい映像を収集、公開しています。今では見ることのできない「町並み」「暮らしの様子」「伝統行事」などが撮影された映像を、富山県の文化的な財産として残していきます。

県民の皆様から提供いただいた、それぞれの地域に残っているふるさと富山を撮影したビデオや8ミリフィルム、16ミリフィルム等は、ビデオやDVDに変換してお渡ししています。また、再編集を行ってDVD-Videoとして広く貸出を行っています。

ご自宅、倉庫などに映像資料が眠っていませんか？

映像資料募集！

富山県映像センターでは、富山県内で撮影された風景、伝統行事などの映像資料を集めています。そして、集めた映像資料は、DVD等まとめて、無償貸し出しや無償上映を行っています。

もし、ご自宅に該当の映像資料がありましたら、当センターの映像資料収集にご協力ください。映像資料をお寄せいただいた方には、採用された映像作品DVDを1枚贈呈いたします。また、県民力レジャー遊覧やとやま映像祭の会場で上映も行います。

収集映像の例

- 富山の駅や自然・街並みの風景の映像
- とやま親子舞の舞踊団の映像
- 地域で行われている祭り、伝統行事の映像
- 富山県内で撮影された風景映像

収集対象メディア

- DVテープ、miniDVテープ
- VHSテープ
- 8ミリビデオ
- 8ミリフィルム

収集条件

- 個人で撮影されたものであること
- 撮影者が特定できるものであること
- 著作権等の権利関係が明確なものであること
- 複製で提供できるものであること
- 営利目的の個人が特定されない映像であること
- 編集済みのものでも可

【お問い合わせ先】
富山県映像センター
〒930-0365
富山県富山市アール・徳川文化創造館
TEL 076-441-8455
FAX 076-441-5934

■富山県視聴覚教育研修会

富山県視聴覚教育協議会及び富山県教育委員会生涯学習・文化財室と連携し、運営しています。また、当研修会において郷土学習教材やとやまデジタル映像ライブラリーなどの活用について紹介しています。



■とやまデジタル映像ライブラリー

ふるさと富山に関する映像が約2,000点登録されています。これらの映像は、インターネットで簡単に視聴することができます。

<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/video/>



富山まつり～時代風俗行列～



昭和38年豪雪の記録



大寒修行～大岩日石寺～

〔映像資料収蔵例（抜粋）〕

□映像で綴る思いでの富山

昭和38年豪雪の記録、みなとまつり(昭和31年)、富山新港開港式(昭和43年)、秋季運動会(昭和49年)、神通川増水(昭和36年)、富山市産業大博覧会、カイニョウは生きている(昭和62年) 他

□とやま映像コンクール入賞作品

「富山県砺波地方の昔の米作り」、「ステラ ～星の軌跡～」、「一粒の米・一本のワラから」、「夏の予感」、「べるもんた走る 越中万葉を乗せて」、「心にキザム」他

□郷土学習教材（映像センター制作）

立山の自然（文部大臣賞）、富山のくすりやです（文部大臣賞）、ブリを待つ海（文部大臣賞）、高岡銅器 技とところ（全国優秀賞）、布橋大灌頂（グランプリ）、天涯を護る、越中文学散歩（グランプリ）、越中を拓く（審査員特別賞）、越中万葉憧憬、棟方志功と富山の人々（奨励賞）、分県の父 米澤紋三郎の志（審査員特別賞）、とやま売薬物語（優秀賞）、とやま「鉄道」物語（理事長賞）、富山湾 美しい湾を未来につなぐ（優秀賞）、とやまの曳山“世界の宝”を守り続ける（グランプリ） 他

□旬の映像（映像センター制作）

富山の四季や伝統的行事、人々の暮らしなどを映像化したものなど約500作品。

4 学習交流や成果の発表を支援します

カレッジ単位の認定

■単位認定制度

主催講座・委託講座・連携講座は、認定基準を設けて、講座の時間数により単位認定を行います。

■認定証と称号

各講座で修得された単位数の累計が100単位を超えた方には、毎年開かれる「県民カレッジ学遊祭」で認定証をお渡しします。特に、1,000単位以上の方には、次のような称号を贈ります。

単 位	称 号
1,000単位取得者	県民カレッジアドバイザー
2,000単位取得者	県民カレッジマスター
3,000単位取得者	県民カレッジドクター



単位認定証授与式

■県民カレッジカード

学習履歴や修得単位を記録するカードを発行し、受講者の学習活動を応援します。講座を修了された方が修了シールをカードに貼り記録していくことで、学習のあゆみがわかります。



発表・交流の機会

■県民カレッジ学遊祭

講座受講者・学習団体・県民が集い、学習交流や情報交換などをおとして、生涯学習に対する意識の高揚を図ります。

当日は、式典・ステージ発表・展示・実演・特別講座・映像フェスティバルなどを開催します。



特別講座 富山市郷土博物館
主任学芸員 萩原大輔氏

学習のお手伝いをするボランティア

学習の成果をボランティア活動に活かすなど、学習ボランティアの活動の場を広げています。

■カレッジメイト

講座運営や広報紙制作など、県民の学習環境を整えるお手伝いをします。

■映像ボランティア

とやまを映像で記録・制作し、県民の共有財産として未来に遺したり、映像制作（撮影・編集など）に関する学習をお手伝いしたりするボランティア活動を行います。



教授するボランティア

県民自らが講座を企画し教えることで、多様な学習機会が大きく広がっています。教えることはその人にとっても最高の学習活動であり、ともに学びあう交流の場となっています。

■自遊塾県民教授

県民教授（講師）が、自ら学んできたテーマに基づいて講座を開き、塾生（受講者）とお互いの学習意欲に共感しながら、交流することで学びを深めます。県民教授会などの自主活動もあります。

■はつらつ学びのリーダー

ボランティア指導者としての基本的な知識と技能などを習得した県民が、各種講座の講師や団体・サークルのリーダーとして地域で活動しています。

仲間と活動する学習ボランティア

仲間とともに学んでいる学習団体との連携を図り、学習活動を振興しています。

■富山県生涯学習団体協議会

富山県内で自発的に学習活動を行っているサークル・団体で構成されています。

相互の連携を深めるとともに、加入団体の活性化と地域の生涯学習の振興を図るために、昭和63年に結成されました

加入団体 107団体（5,764人）

事業

- ・学習団体の交流活動の促進（交流研修会の実施）
- ・教養講座の開催
- ・機関誌「生涯学習の仲間たち」の発行
- ・地区ごとに広報紙を発行
- ・優良団体の表彰

入会のおすすめ

1. サークルをこえて共同することで、郷土への愛着や地域の連帯感などを育みます。
2. 教養講座や交流研修会などによって、新たな視点から学ぶことができます。
3. サークル活動や活動の成果を、地区や県内に広く紹介することができます。
4. 県民カレッジをはじめ、県内の生涯学習機関からの学習情報をいち早く得ることができます。



■県民カレッジ友の会「雷鳥会」

共に学び合う生涯学習の輪を広めるためさまざまな活動を続け、親睦を深めている学習団体です。会員になると

- ・会報「雷鳥」をお届けします（年4回）。
- ・「県民カレッジ叢書」を贈呈します。
- ・県民カレッジ夏季講座を受講することができます。
- ・美術鑑賞会や見学旅行会等の文化事業に参加することができます。
- ・講座運営の支援などのボランティア活動に参加することができます。

事業例

- ・企業訪問
- ・日帰りセミナー
- ・県民カレッジ学遊祭 展示・発表など
- ・県民カレッジ連携「21世紀講座」の開催
- ・県民カレッジ叢書の普及活動
- ・県民カレッジ事業の支援
- ・トーク&トーク



日帰りセミナー（雨の宮古墳公園）



学遊祭での展示発表

5 生涯学習についての調査・研究を行います

県の生涯学習の中核的機関として、県民のニーズや地域の特性に応じた事業を充実し、開発するため、調査・研究を進めます。

年 度	調 査 名 等
昭和63年(1988)	・生涯学習に関する意識調査
〃	・地域通信ネットワークによる教育・学習活動の援助に関する具体的・実証的研究 — 富山県生涯学習情報提供システム基本計画 —
平成元年(1989)	・学習機会に関する調査研究
〃	・地域通信ネットワークによる教育・学習活動の援助に関する具体的・実証的研究 — 富山県生涯学習情報提供システム実施計画 —
〃	・富山県生涯学習情報提供ネットワークシステムの概要
平成2年(1990)	・生涯学習団体・サークルに関する調査研究
平成3年(1991)	・「富山文庫」に関する調査研究
〃	・公開端末設置に関する調査研究
〃	・生涯学習情報提供ネットワークシステムと視聴覚関連情報の提供
〃	・生涯学習関連事業の連携に関する調査報告書
平成4年(1992)	・企業と生涯学習に関する調査報告書 — 生涯学習振興に向けた連携のあり方について —
〃	・ニューメディア教育利用開発研究事業報告書
平成5年(1993)	・マルチメディア等の教育利用に関する開発研究
平成6年(1994)	・マルチメディア等の教育利用に関する開発研究 — マルチメディア教材「弥陀ヶ原探訪」の開発 —
〃	・参画・創造型生涯学習の民間組織と学習ボランティアに関する調査研究報告書
平成9年(1997)	・生涯学習についての県民の意識調査
平成11年(1999)	・21世紀の生涯学習に向けて ～ 全国の趨勢と本県の状況 ～
平成12年(2000)	・県民カレッジにおける単位制度 学習成果の新たな評価と活用の方を求めて
平成13年(2001)	・県民カレッジの今後の在り方
平成14年(2002)	・学習動向と学習支援のあり方 ～ 各種調査を基に ～
平成15年(2003)	・生涯学習ボランティアの振興について
平成16年(2004)	・ボランティア活動の実態把握とその評価について
平成17年(2005)	・生涯学習情報提供ネットワークシステムに関する調査
平成18年(2006)	・学習成果の活用と地域社会の活性化について
平成19年(2007)	・はつらつ学びのリーダー育成事業について (VOL1)
平成20年(2008)	・はつらつ学びのリーダー育成事業について (VOL2)
平成21年(2009)	・生涯学習に関する県民の意識と実態調査 (データ収集)
平成22年(2010)	・生涯学習に関する県民の意識と実態調査 (分析)
平成23年(2011)	・県内の生涯学習機会提供の実態と県民カレッジの役割について (資料作成)
平成24年(2012)	・県内の生涯学習機会提供の実態と県民カレッジの役割について (分析)
平成25年(2013)	・「とやま公民館学遊ネット」の利用実態に関する調査 (データ収集)
平成26年(2014)	・「とやま公民館学遊ネット」の利用実態に関する調査 (データ分析)
平成27年(2015)	・「とやま公民館学遊ネット」の利用実態に関する調査 (データ分析・まとめ)
平成28年(2016)	・「富山県民の生涯学習の現状に関する調査」
平成29年(2017)	・「富山県民の生涯学習の現状とニーズに関する調査」(アンケート分析)
平成30年(2018)	・「富山県民の生涯学習の現状とニーズに関する調査」(アンケート分析・まとめ)

県民カレッジ地区センター

広域学習圏の拠点として、県内の新川・富山・高岡・砺波の4カ所に開設しています。

定時制高校に併設され、社会人が高校生とともに学ぶこともできる施設です。

講座の提供のほか、学習相談などさまざまな生涯学習の支援を行っています。

講座の提供

地域課題学び活かし講座 地域に関連した様々な課題に強い関心を持っている方や、実際に活動されている方が共に学び、考える機会を設けることで、地域の活性化に向けた行動につなげる講座を開講しています。

ふるさと探究講座 ふるさとの自然や風土・歴史（人物）・文化・伝統・産業などをテーマにした専門家の講義を通して学びを深める「専門」と、地域の特色を活かしたテーマについて現地研修や解説を通して体験的に学びを深める「基礎」を開講しています。

共 学 講 座 高校の授業の一部を社会人向けに提供し、高校生と共に学びます（科目履修制度）。通年・前期・後期などの履修形態があります。

そ の 他 学習団体講座（教養講座・広域交流講座）、自遊塾などを開講しています。

学習の支援

学習情報の提供 「とやま学遊ネット」の検索・情報提供サービスや「地区センターだより」の刊行などをおして、県民に学習情報を届けています。

学習活動の場の提供 学習サロンや学習室を県民に開放しています。ビデオブースでは富山県映像センターの映像資料を視聴することができます。

学習相談窓口の開設 講座の受講や講師、ボランティアに関することなど、生涯学習についての相談に応じています。

自主的学習活動支援 「キャンパスフェスティバル（学遊祭）」やボランティア活動をとおして、学習成果の発表や学習交流を推進しています。

広域学習圏の学習振興

広域市町村・関係機関・社会教育団体との生涯学習に関わる連絡調整のほか、大学や諸機関・企業の講座と連携して単位を与える連携講座、関係機関が学習情報を交換する広域学習サービス連絡会議などを主管します。

新川地区センター

所在地 〒937-0011 魚津市木下新144
県立新川みどり野高等学校内
TEL.0765-22-4001
FAX.0765-22-0901

開設 平成13年(2001年)

利用時間 月・水～土曜 9:00～19:00
日曜 9:00～17:00

休所日 火曜・祝日・年末年始



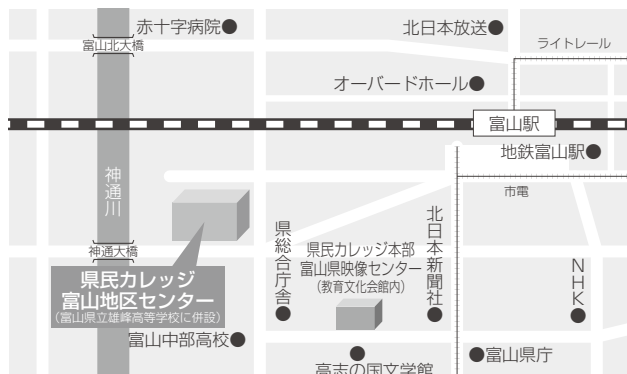
富山地区センター

所在地 〒930-0009 富山市神通町2丁目12-20
 県立雄峰高等学校内
TEL .076-441-0301
FAX .076-441-0328

開設 平成25年(2013年)

利用時間 月・水～土曜 9:00～19:00
 日曜 9:00～17:00

休所日 火曜・祝日・年末年始



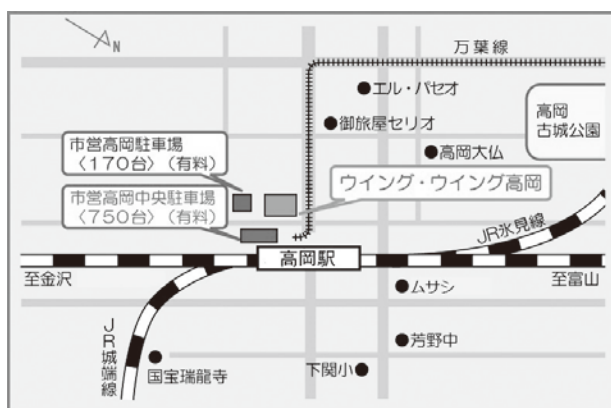
高岡地区センター

所在地 〒933-0023 高岡市末広町1-7
 ウイング・ウイング高岡7階
 (志貴野高等学校併設)
TEL .0766-22-5787
FAX .0766-22-5872

開設 平成16年(2004年)

利用時間 月～土曜 9:00～20:00
 日曜・祝日 9:00～17:00

休所日 第4月曜日・年末年始



砺波地区センター

所在地 〒932-0114 小矢部市清水95-1
 県立となみ野高等学校内
TEL .0766-61-2020
FAX .0766-61-2008

開設 平成13年(2001年)

利用時間 月・水～土曜 9:00～19:00
 日曜 9:00～17:00

休所日 火曜・祝日・年末年始



資料1 とやまの生涯学習のあゆみ

年度	行政機関〔長〕	実施機関〔長〕	事業等
昭和43 (1968)	精神開発室 〔秋山 嘉久〕		精神開発室創設、各種研修会・文化講演会、「精神開発叢書」を発刊。
昭和45	〔屋敷 平州〕		精神開発研究委員の講演・指導助言活動を開始。
昭和46	〔亀谷 一〕		情操教育講演会を開始。
昭和47	〔佐賀 宗久〕		「精神開発新書」を発刊。
昭和48 (1973)	〔川人 貞現〕		県総合開発審議会の答申により「生涯教育行政及び県民大学校に関する構想」を建議。
昭和49 (1974)	振興課 〔針山 良知〕		精神開発室を廃し、振興課を設置。 県民大学校「夏季講座」を開始。 県民大学校友の会「雷鳥会」が発足。 「精神開発新書」を「生涯教育新書」に改称。
昭和50			県民大学校「移動講座」「高校開放講座」「放送通信講座」を開始。
昭和51 (1976)	生涯教育班 〔高峯 正岡〕		機構改革により、振興課を廃止し、生涯教育班を設置。
昭和52 (1977)	〔雲井 利彦〕		県民大学校 地方講座を開始。 高校卒業生全員に「記念誌」を配布。
昭和53	〔吉崎 四郎〕		県民大学校「専門講座」を開始。
昭和54			県民大学校 移動巡回講座を開始。
昭和55 (1980)			生涯学習リーダーバンクを設置。 生涯学習グループ調査を実施。
昭和56 (1981)	生涯教育室 〔吉崎 四郎〕	生涯学習センター 〔青柳 正美〕	生涯教育推進本部事務局を知事公室より移管。 生涯教育推進協議会を設置。 「生涯教育の基本姿勢について」を協議。 生涯教育推進に関する企画・調査を実施。 生涯学習相談「明日をひらく窓」を開設。 広報誌「とやまの生涯学習」を発刊。
昭和57 (1982)			「明日を拓く生涯学習」を発刊。 県民大学校 精神開発講座を開始。
昭和58 (1983)	〔八木 近直〕	〔吉崎 四郎〕	県生涯教育推進協議会「生涯学習体系について」を協議。 置県100年記念「県民のひろば」を発刊。 創造性開発講座を開始。
昭和59 (1984)			県民大学校「春季・秋季講座」を開始。 「生涯学習ガイドブック」を発刊。
昭和60	〔青塚 与市〕		県生涯教育推進協議会「生涯学習体系の整備について」を協議。
昭和62 (1987)			県生涯教育推進協議会「県民総合大学校(仮称)構想の具体化について」を協議。 県民総合大学校(仮称)開校準備室を開設。
昭和63 (1988)	生涯学習室 〔岡田 久良〕	県民カレッジ 〔吉崎 四郎〕	生涯教育室と社会教育課を統合、生涯学習室と改称。 生涯学習センターを廃止し、富山県民生涯学習カレッジを開学(10月)。 「精神開発叢書」「生涯教育新書」を「県民カレッジ叢書」に改称。 放送事業、専門コースを開始。 富山県生涯学習団体協議会が発足。
平成元 (1989)	〔竹内 伸一〕		県生涯教育推進協議会「地域における生涯学習の振興について」を協議。 第1回県民カレッジフェスティバルを開催(10月)。
平成2 (1990)			「富山県生涯学習情報提供ネットワークシステム(愛称:とやま学遊ネット)」が開通(10月)。
平成3 (1991)	〔細呂木六良〕		県生涯学習審議会「生涯学習の振興のための基本構想の策定について」を協議。 富山地域リカレント教育推進協議会事務局を設置(2月)。
平成4			富山地域リカレント教育推進協議会によるリカレント学習コースを開設。
平成5 (1993)	〔飯田 宗映〕	〔竹内 伸一〕	県民カレッジ映像センターを開設。 ハイビジョン学習室等完成(6月)、学習サロンを新設。 「とやま学遊ネット情報」を発刊、海外セミナーを実施。
平成6			第6回全国生涯学習フェスティバル(まなびピアとやま'94)を開催(10月)。
平成7 (1995)	〔吉川 實〕	〔飯田 宗映〕	リカレント教育を県事業として開始。 県民カレッジ「自遊塾」を開始、ハイビジョンフェスティバルを開始。 第1回富山県民生涯学習フェスティバルを開催(魚津市)。
平成8 (1996)	〔金井 進〕	〔吉枝 信朗〕	人間探究講座にコース制を導入。 「とやま学遊ネット」の一般開放と24時間稼働を開始(3月)。
平成9		〔山口 松蔵〕	インターネットで「とやま学遊ネット」の情報検索利用を開始(5月)。
平成10 (1998)	〔大畑 年〕	10月〔吉枝 信朗〕	県生涯学習審議会の提言により「とやま生涯学習ボランティア活動推進プラン」を策定(10月)。 広域キャンパス講座を開始、「生涯学習メニューブック」を発行(～17年)。 県民カレッジ開学10周年記念式典を挙行(10月)。 インターネット方式での講師・指導者情報の提供および雑誌検索を開始(3月)。

年度	行政機関〔長〕	実施機関〔長〕	事業等
平成11 (1999)	〔大畑 年〕	〔飯田 宗映〕	インターネット市民塾実証実験で在宅講座9講座を開設（8月）。 映像センター課内に、富山県映像センターを設立（1月）。 生涯学習ボランティアサミットを開催（～13年）。
平成12 (2000)	〔久津 武司〕		富山県民生涯学習カレッジ新川地区センター及び砺波地区センターを開設（1月）。 県生涯学習審議会の答申に基づき「富山県生涯学習新世紀構想～学びあいビジョン～」を策定（3月）。
平成13			新川地区センターと砺波地区センターで事業を開始。
平成14	〔中田 正幸〕	〔橋本 清〕	富山インターネット市民塾推進協議会を設立（5月）。
平成15 (2003)		〔村井 和〕	新「とやま学遊ネット」を稼働（4月）。 全国視聴覚教育連盟創立50周年記念特別功労団体（全国5団体の1つに選出）表彰を受賞。 高岡地区センターを開設（1月）。
平成16 (2004)		10月〔結城 正斉〕	高岡地区センター事業を開始。 県民カレッジ「YUHO講座」を開始。
平成17 (2005)	〔中西 彰〕	〔中川 松枝〕	県生涯学習審議会で県民カレッジ事業の今後のあり方を審議（10月）。 県生涯学習団体協議会、雷鳥会、自遊塾代表者による生涯学習団体関係者懇談会を開催（1月）。 行政改革推進会議が講座内容等の抜本的見直しと、運営におけるNPOやボランティアとの協働を提言（1月）。
平成18 (2006)	生涯学習・文化財室 〔中西 彰〕		「布橋大灌頂～立山信仰と女人救済儀式～」が第4回全国地域映像コンクールで「グランプリ」を受賞（12月）。 県民カレッジあり方検討会で4回の検討を経て、「新たな生涯学習時代に対応した県民カレッジのあり方」を報告（3月）。
平成19	〔藤縄 太郎〕	〔中西 彰〕	「はつらつ学びのリーダー育成事業（2期3カ年計画）」を開始（6月）。
平成20 (2008)	〔山本なつみ〕		県民カレッジ20周年記念フェスティバルを開催（8月）。 CMS導入により、「とやま学遊ネット」をポータルサイト化（3月）。
平成21		〔結城 正斉〕	「とやまデジタル映像ライブラリーシステム」を更新（3月）。
平成22 (2010)	〔木下 晶〕	〔加藤 敏久〕	「ふるさと学びあい推進事業」を開始。 「越中文学散歩～ふるさとの作家が綴るとやま～」が第8回全国地域映像コンクール「グランプリ」を受賞。
平成23 (2011)	〔平野 富佐〕		「とやま公民館学遊ネット」を開設、文化財情報を追加。 「ふるさと映像制作支援講座」を開催。 「越中を拓く～椎名道三と十二貫野用水～」が第9回全国地域映像コンクール「審査員特別賞」を受賞。
平成24 (2012)			「高志の国文学探究講座」を開設。 富山地区センターを開設（1月）。
平成25 (2013)	〔木村 博明〕	〔荒井 克博〕	富山地区センター事業を開始。 「高志の国文学入門講座」・「高志の国文学専門講座」を開設、テレビ会議システムにより、「高志の国文学入門講座」を各会場へ配信。 「棟方志功と富山の人々」が第11回全国地域映像コンクール「奨励賞」を受賞。
平成26 (2014)			「ふるさと富山の魅力探究講座」を開設。 「富山県誕生 分県の父 米澤紋三郎の志」が第12回全国地域映像コンクール「審査員特別賞」を受賞。
平成27 (2015)	〔齊藤 幸江〕	〔山崎 弘一〕	「とやまの薬が生んだ信頼の絆 とやま売薬物語」が第13回全国地域映像コンクール「優秀賞」を受賞。
平成28			「とやま『鉄道』物語」が第14回全国地域映像コンクール「理事長賞」を受賞。
平成29 (2017)	〔菊池 政則〕		「高志の国まなび師範養成塾講座」を開設。 「富山湾 美しい湾を未来につなぐ」が第15回全国地域映像コンクール「優秀賞」を受賞。
平成30 (2018)			「地域課題学び活かし講座」を開設。 県民カレッジ30周年記念式典・特別講座を開催（10月）。 「とやまの曳山“世界の宝”を守り続ける」が第16回全国地域映像コンクール「グランプリ」を受賞。

資料2 富山県映像センター（県民カレッジ映像センター）のあゆみ

年度	名 称	富山県の視聴覚教育活動関連記事等
映像を活用した生涯学習活動の振興をめざして		
S 63	富山県民カレッジ条例 富山県民生涯学習カレッジ 視聴覚室 (所管：県民カレッジ振興課) 富山県民生涯学習カレッジ備付 教具教材使用規則に改正	・郷土学習教材映画「立山の主～ライチョウは語る～」を制作、全国コンクールで文部大臣賞を連続受賞。 
H 1	富山県民生涯学習カレッジ 視聴覚ライブラリー	・郷土学習教材映画「富山のくすりやです」を制作、全国コンクールで初の3年連続文部大臣賞を受賞。 ・県民カレッジビデオ実技セミナーを開始。 ・NHK杯全国高等学校放送コンクールで富山女子短大附属高校が第1位を受賞。
2		・第30回東海北陸放送教育研究大会を開催（上市町）。
3		・郷土学習教材映画「ブリを待つ海」を制作、全国コンクールで文部大臣賞を受賞。
4	〔所管：県民カレッジ〕 映像センター課	・生涯学習をテーマに東海北陸地区視聴覚ライブラリー研究協議会を開催（高志会館）。
5	富山県民生涯学習カレッジ 映像センター 〔所管：県民カレッジ〕 映像センター課	・生涯学習施設として全国初のハイビジョン学習室がオープン。 ・ビデオ編集設備が完成。 ・ハイビジョンを活用した講座「美との出会い」を開講。 ・ニューメディアの教育利用研究「マルチメディア等の教育利用に関する開発研究」（文部省委嘱）を開始（～平成6年度）。 
6		・全国生涯学習フェスティバル「まなびピアとやま」開催を機に「ふろさとビデオコンテスト」を開始。
7		・映像ボランティア「学遊ビデオ・メイト」を結成。 ・ビデオブースを活用した自学自習型ビデオ視聴講座を開講。 ・郷土学習教材映画「水と産業～水を治め水を生かす～」制作。全国コンクールで文部大臣賞。16ミリ映画制作を終了（全18作 文部大臣賞6回・優秀賞8回）。 ・全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタで「おばあちゃんのとうふ」が初の優秀賞を受賞。 
8		・素材活用型郷土学習教材（ビデオCD）制作事業を開始（「下水のゆくえ」）。
10		・東海北陸地区教育メディア・生涯学習情報提供研究協議会を開催（教育文化会館）。 ・全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタで「小京都に夢を曳く～城端曳山祭～」が優秀賞を受賞。

映像を活用した文化・学習活動の支援をめざして

11	富山県生涯学習カレッジ 富山県映像センター 富山県生涯学習カレッジ 備付教具教材使用規則を廃止 富山県映像センター規則を制定(H12.1月)	・全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタで「立山賛歌」が初のグランプリを受賞。 ・全国自作視聴覚教材コンクールで平村郷土学習会が民間グループ本県初の文部大臣賞を受賞。 ・県優秀映像鑑賞推進事業「わくわくシアター」を開始。 ・世界野生生物映像祭最終ノミネート以上の作品（ビデオ化）の管理・貸出を開始。
12		・貴重なとやまの映像保存「映像で綴る思いでのとやま」事業を開始。 ・素材活用型郷土学習教材「庄川と人々の暮らし」（DVD）を制作、全国自作視聴覚教材コンクールで優秀賞を受賞。 ・映像工房をノンリニア化、ノンリニアビデオ編集講習会を開始。 ・全国自作視聴覚教材コンクールで大平憲義氏の「回船問屋森家の建築美」が個人として本県初の文部大臣賞を受賞。 ・映像利用、映像制作に関する相談が年間1,500件を突破。 ・富山県学校視聴覚教育研究会が高校部門を切り離し、幼・小・中で再出発。 ・富山県工業教育フィルムライブラリーの貸出・管理業務を県映像センターに移管。
13		・インターネットで動画を視聴、編集することができる「とやまデジタル映像ライブラリー」試験運用を開始。
14		・通信衛星教育情報システム「エルネット」を利用した「チャンネルとやま」放送を開始。
15		・全国自作視聴覚教材コンクールで、武脇孝弘氏の「壁の造形～竹内源三の世界～」が文部科学大臣賞を受賞。 ・富山県視聴覚ライブラリー協議会が平成14年度末をもって閉会。 ・インターネットで動画を視聴・編集することができる「とやまデジタル映像ライブラリー」の本格運用を開始。 ・全国自作視聴覚教材コンクールで、映像センター制作の素材活用型郷土学習教材「チューリップとともに－球根栽培に取り組む人々－」（DVD）が優秀賞を受賞。 ・県民カレッジが、「全国視聴覚教育連盟創立50周年記念視聴覚教育特別功労者」表彰を受賞。
16		・富山県学校視聴覚教育研究会が平成15年末をもって休会。 ・第2回全国地域映像コンクールで、ハイビジョン静止画ソフト「おわら幻想」が地域文化デジタル化推進協議会会長賞を受賞。
17		・学遊ビデオ・メイト創立10周年。 ・パソコン講座を廃止し、映像制作に特化して講座を展開。 ・ハイビジョン静止画ソフト「よみがえる勝興寺大伽藍～本堂修復の軌跡～」が第3回全国地域映像コンクールで総務大臣賞を受賞。 ・ハイビジョン対応液晶プロジェクターの設置やハイビジョンカメラ及びハイビジョン編集機の導入など、ハイビジョン化への対応を図る。 ・「旬のとやま」のDVD化及び貸出を開始。（H17.8月～） ・年度末をもって、通信衛星教育情報システム「エルネット」を利用した「チャンネルとやま」の放映を休止。 ・地上波デジタル放送活用推進事業（文科省）及び農畜産における育成鑑定システム事業（総務省）研究に協力（共にH17～H19）。

18		・ノンリニア編集機2台及びハイビジョン対応デッキを導入。
19		・郷土学習教材「布橋大灌頂～立山信仰と女人救済儀式～」が第4回全国地域映像コンクールでグランプリを受賞。
20		・県内外機関での日常的上映により、「旬のとやま」等の映像活用が拡大。 ・ノンリニア編集機（ハイビジョン対応）4台を導入。 ・映像教材増加に伴い書架を増設。 ・郷土学習教材「ふるさと富山の偉人石黒信由～江戸時代に精密な地図を作る～」が第5回全国地域映像コンクールで総務大臣賞を受賞。 ・旬の映像等の利活用が進み、県内外の18機関で日常的に上映。 ・ケーブルテレビ（CATV）での映像利用が増加。 ・県民カレッジ開学20周年記念「視聴覚教材総合目録」を発刊・配布。 ・県民カレッジ開学20周年。 ・映像工房をハイビジョン編集中心にレイアウトを変更。 ・県内を中心に、旬の映像の利活用が増加、利用機関が20カ所を超過。 ・ノンリニア編集機2台を更新（ハイビジョン対応）。
21		・郷土学習教材「高岡物語 開町四百年の軌跡」が完成。 ・「14歳の挑戦」で、中学生を受け入れ。 ・郷土学習教材「天涯を護る－立山カルデラの砂防－」が完成。 ・「富山県の木造校舎シリーズ」（DVD）が完成。 ・ノンリニア編集機2台を更新（ハイビジョン対応）。 ・ハイビジョン学習室の機器（AVセクター・アンプ）を更新。 ・「14歳の挑戦」で中学生を受け入れ。
22		・郷土学習教材制作にあたり、小学校・中学校・高等学校教員に協力員を依頼。 ・16mmフィルムのDVD化を推進。 ・「土曜シアター」を開始。 ・「とやまデジタル映像ライブラリー」を更新。 ・ノンリニア編集機2台を更新。 ・プロジェクター1台を更新。
23		・生徒実習として中学生が「14歳の挑戦」で活動。 ・「旬の映像」（年間DVD5枚）制作5周年。 ・郷土学習教材「越中文学散歩～ふるさとの作家が綴るとやま～」が第8回全国地域映像コンクールでグランプリを受賞。 ・公民館関係者を対象に地域の伝統行事や自然、文化を映像に記録し保存することを目的とした「ふるさと映像制作支援講座」を開催。 ・ノンリニア編集機3台を更新。
24	 	・郷土学習教材「越中を拓く～椎名道三と十二貫野用水～」を制作、第9回全国地域映像コンクールで審査員特別賞を受賞。 ・高志の国文学館との連携事業「映像で楽しむ高志の国文学上映会」を開催。 ・第16回視聴覚教育総合全国大会第63回放送教育研究会全国大会合同大会のテーマ別研究交流会で提案発表。 ・ノンリニア編集機2台を更新。 ・新規プロジェクター1台を追加。 ・「14歳の挑戦」で中学生を2校、計7名を受け入れ。 ・郷土学習教材「越中万葉憧憬～大伴家持、越中を詠む～」を制作。 ・スタジオ・調整室の機材を精選し、撮影・録音に適した環境に整備。



25		・「高志の国文学館企画展連携上映会」を開始。 ・「14才の挑戦」で中学校2校、計6名を受け入れ。 ・「ふるさと土曜シアター」を「わくわく土曜シアター」と改称し、上映回数を毎月第2・第4土曜日（午前・午後の2回上映）に拡充。 ・郷土学習教材「棟方志功と富山の人々」を制作、第11回全国地域映像コンクールで奨励賞を受賞。 ・ハイビジョン学習室のプロジェクターを修理（映写時の色のにじみを解消）。 ・テレビ放送講座（昭和63年～平成17年）で放送した番組をDVD化し、県民への貸出に提供。
26		・ノンリニア編集機1台を更新。 ・「14歳の挑戦」で中学生を2校、計7名を受け入れ。 ・郷土学習教材「富山県誕生 分県の父 米澤紋三郎の志」を制作、第12回全国地域映像コンクールで審査員特別賞を受賞。 ・「旬の映像」北陸新幹線富山駅工事の進捗状況、布橋灌頂会他を制作。 ・「高志の国文学館企画展連携上映会」を実施。 ・ノンリニア編集機1台を更新。
27		・ハイビジョンの高精細ビデオカメラを導入。 ・「14歳の挑戦」で中学生を2校、計6名を受け入れ。 ・中、高校生を対象とした「ジュニア映像制作講座」を実施。 ・郷土学習教材「とやまの薬が生んだ信頼の絆 とやま売薬物語」を制作、第13回全国地域映像コンクールで優秀賞を受賞。 ・「旬の映像」制作10周年。累計70本を超える映像作品（DVD）を制作、配信。 ・「高志の国文学館連携上映会」を実施。
28		（企画展、ギャラリー展） ・ノンリニア編集機1台、プロジェクター1台を更新。 ・「14歳の挑戦」で中学生を2校、6名を受け入れ。 ・後期に新講座「視覚デザイン講座～ひと目で伝わるデザインの基本～」を実施。 ・郷土学習教材「とやま『鉄道』物語」～とやまの近代化と鉄道の発展～」を制作、第14回全国地域映像コンクールで地域文化アーカイブス理事長賞を受賞。
29		・「14歳の挑戦」で中学生を2校、6名を受け入れ。 ・後期に新講座「映像作品ナレーション講座～わかりやすく、聞きやすい、映像ナレーションの極意～」を実施。 ・16ミリフィルム上映会を実施。 ・郷土学習教材「富山湾 美しい湾を未来につなぐ」を制作、第15回全国地域映像コンクールで優秀賞受賞。
30		・とやま映像コンクールは平成29年度末をもって廃止。 ・「14歳の挑戦」で中学生、2校6名を受け入れ。 ・とやま映像デジタル映像ライブラリーサーバーシステム更新。mpeg4対応により、スマートフォンで閲覧が可能になる。 ・郷土学習教材「とやまの奥山 “世界の宝” を守り続ける」を制作、第16回全国地域映像コンクールでグランプリを受賞。 ・教職員研修は平成30年度末をもって廃止。

資料3 主な講座の受講者数の推移

No	年 度		平 成 26		平 成 27		平 成 28		平 成 29		平 成 30	
	講 座 名		講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
1	夏 季 講 座・特 別 講 座 ※1		1	469	1	548	1	646	2	1,203	2	1,108
2	ふるさと 発見講座	人間探究コース	8	369	8	393	8	427	10	550		
		教養・実践コース	12	242	18	334	20	450	21	536		
3	ふるさと 探究講座	専 門									10	457
		基 礎									13	391
4	ふ る さ と 文 化 探 究 講 座		1	46	2	104	2	100	2	138		
5	ふるさと富山の魅力探究講座		4	229								
6	高 志 の 国 文 学 入 門 講 座		1	99								
	高志の国文学専門講座	探究コース	1	50	1	44	1	40				
		活用実践コース	1	43	1	29	1	40				
7	高志の国まなび師範養成塾講座								1	98		
8	地 域 課 題 学 び 活 か し 講 座										12	478
9	共 学 講 座		129	1,006	127	1,003	128	1,007	125	1,080	127	916
10	映 像 制 作 講 座 ※2		7	93	7	81	8	112	4	54	4	86
11	県 民 カ レ ッ ジ 自 遊 塾		72	1,152	83	1,239	101	1,529	115	1,682	113	1,593
12	学 習 団 体 講 座		5	586	5	561	5	547	5	549	5	522
小 計			242	4,384	253	4,336	275	4,898	285	5,890	286	5,551
13	連携講座	実施機関数	25		23		24		25		24	
		講座数・受講者数	194	6,147	152	6,239	157	5,499	157	7,189	141	6,508
合 計			436	10,531	405	10,575	432	10,397	442	13,079	427	12,059

※1 特別講座は、平成29年度「30周年プレ特別講座」と平成30年度「30周年特別講座」

※2 映像制作講座数には、講座番号の無いもの（認定単位のないもの）も含める。

資料4 平成30年度 連携講座 実施状況

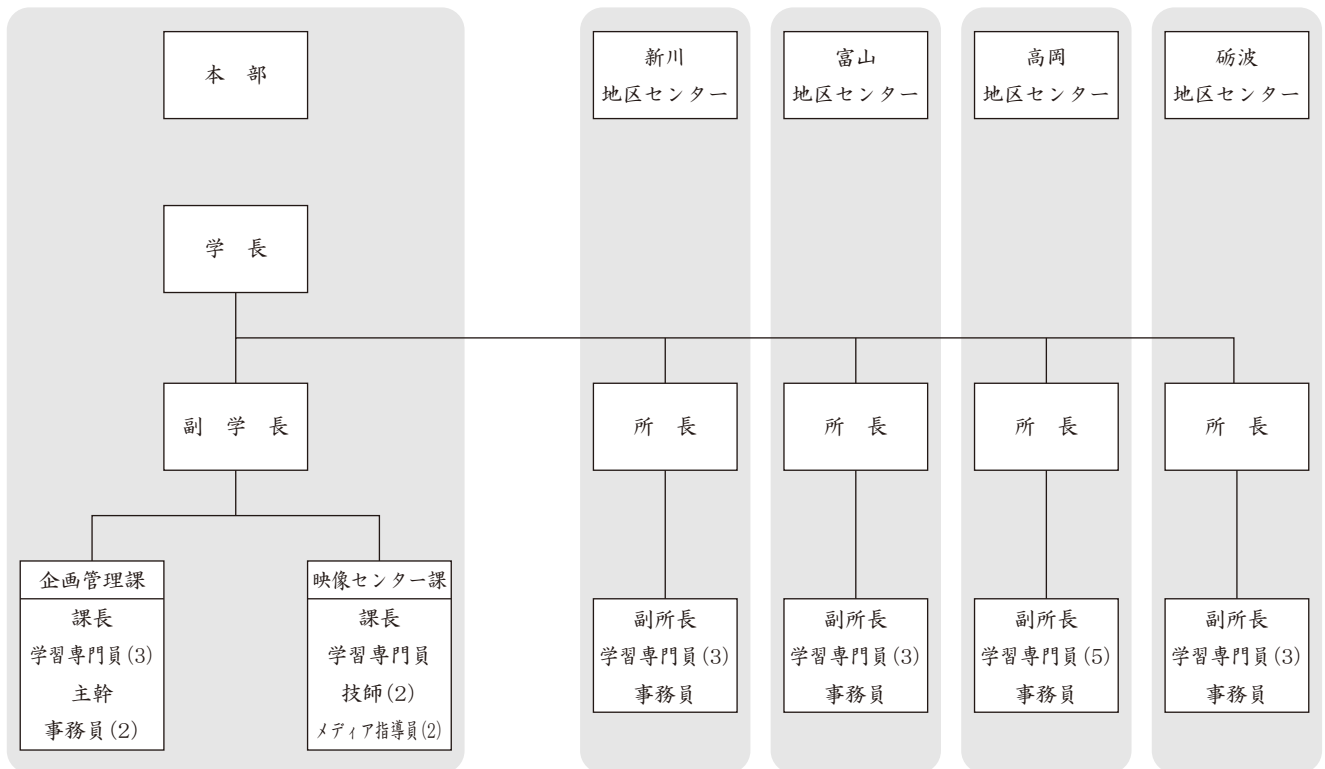
	実施機関数	実施講座数	総定員
高 等 教 育 機 関	8	77	2,958
公 的 機 関 (国・県)	9	22	2,066
市 町 村・市 町 村 機 関	6	41	1,424
民 間	1	1	60
合 計	24	141	6,508
高 等 教 育 機 関	富山大学・富山国際大学・富山県立大学・高岡法科大学・富山短期大学・職藝学院・放送大学富山学習センター・富山福祉短期大学		
公 的 機 関 (国・県)	高志の国文学館・富山県埋蔵文化財センター・富山県公文書館・富山県南米協会・とやま国際センター・社会福祉法人富山県社会福祉協議会・日本海学推進機構（富山県地方創生推進室内）・富山県婦人会・立山カルデラ砂防博物館		
市 町 村・市 町 村 機 関	滑川市教育委員会・高岡市福岡教育行政センター・高岡市万葉歴史館・（公財）砺波市花と緑と文化の財団富山県花総合センター・滑川市中央公民館・黒部市民病院		
民 間	県民カレッジ友の会「雷鳥会」		

資料5 テレビ放送講座過去作品一覧

昭和 63 年度	「立山、清浄への旅立ち」 …立山曼荼羅を通して、立山信仰とその文化を考察
平成 元 年度	「富山湾、その神秘とロマン」 …富山湾の謎に迫りながら、富山湾の自然や文化を考察 「健康くすり学」…くすりとかからだのいい関係
平成 2 年度	「悠久を流れる一とやまの河川」…県内河川の自然や文化を探りながら、その現在と未来を展望 「健康生活学」
平成 3 年度	「道を辿る一街道の歴史と文化」…道が果たした社会への役割などを考え、豊かな未来を展望 「続 健康生活学」
平成 4 年度	「風をみる 風をきく」…風の千変万化を気象、歴史、習慣、信仰などから迫り、未来を展望 「健康生活学 第三部」
平成 5 年度	「とやまに祭りありて」 …祭の姿をさまざまな角度からとらえ、その由来や伝承文化を追求 「健康生活学 IV からだの不思議 健康のもと病気のもと」
平成 6 年度	「とやま 食の風土記」 …伝統の味の継承を願って、富山の食文化を育んだ風土や社会を考察 「健康生活学 V からだの不思議 いろいろな器官」
平成 7 年度	「豊饒の海に生きる一富山湾の魚」…多彩な漁法の知恵を探り、海への理解と自然との共生を追求 「健康生活学 VI 家庭の医学」
平成 8 年度	「川と生きる一富山の川魚漁」 …様々な漁法の中に生きる歴史や文化を通し、川の重要性を考察
平成 9 年度	「山に暮らす一森の精・人の営み」 …身近な里山をテーマに、自然、山の営み、山村文化を考察
平成 10 年度	「風雪を刻んで一富山の住まいと暮らし」 …富山の文化、風土、建築、街づくりを考察
平成 11 年度	「技に生きる一富山の手仕事」 …職人たちの作る「暮らしの用具」をテーマに、先人の技と心を考察
平成 12 年度	「ふるさとに謡ありて一富山の民謡」 …富山県民謡の歴史や文化を生業、信仰、方言、伝承等の観点で考察
平成 13 年度	「越中売薬のこころと知恵」 …本草学、売薬の歴史、文化・伝統等について考察
平成 14 年度	「言葉の彼方に一作家が語る富山の文学」 …大岡信氏ら多彩なゲストを迎え、文学を通して富山の魅力を考察
平成 15 年度	「遥かなる記憶～考古学が語る富山～」 …考古学の魅力を語るとともに、ふるさと富山のルーツを考察
平成 16 年度	「山河を越えて～歴史と文化のクロスロード・富山」 …他地域の人々との交流を通して築いてきた歴史と文化について考察
平成 17 年度	「大地からの贈り物～富山の自然・ヒト・共生」 …富山に生きる動物をとりあげ、人間との共生の道を探るとともに、これからの自然保護について考察

※県教育文化会館 3F、富山県映像センターでDVDの貸出を行っています。

資料6 県民カレッジのしくみ



※() は人数、()が付記されていない場合は1名

〔業務内容〕

◆本部企画管理課および地区センター

- 企画・管理・庶務・会計
- 学習情報の収集・提供（ネットワークシステム）
- 学習相談・ボランティア相談
- 調査・研究
- 講座の企画・開設・委託
- 連携講座
- 学習団体の育成
- 学習活動の奨励・援助
- 学遊祭の企画・運営
- 叢書の企画・編集・発行

◆本部映像センター

- 優秀映像鑑賞推進
- 映像制作セミナー
- 映像活用県民支援
- 講座の開設

■富山県教育文化会館



■交通案内



富山駅より徒歩15分・車5分
 富山空港より車20分
 北陸自動車道富山インターより車15分

■利用時間等

本部

	利用時間	休所日
月・水～土曜	9:00～19:00	火曜・祝日の翌日
日曜・祝日	9:00～17:00	年末年始



富山県生涯学習カレッジ 本部

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内

(企画管理課) TEL.076-441-8401 FAX.076-441-6157

(映像センター課) TEL.076-441-8455 FAX.076-441-5334

<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>

学遊とやま 2019年版

平成31年

■編集発行 **富山県民生涯学習カレッジ**
富山市舟橋北町7-1(富山県教育文化会館内)

■印刷 **株式会社タニグチ印刷**
射水市東明中町7-1

富山県民生涯学習カレッジ

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1(富山県教育文化会館内)